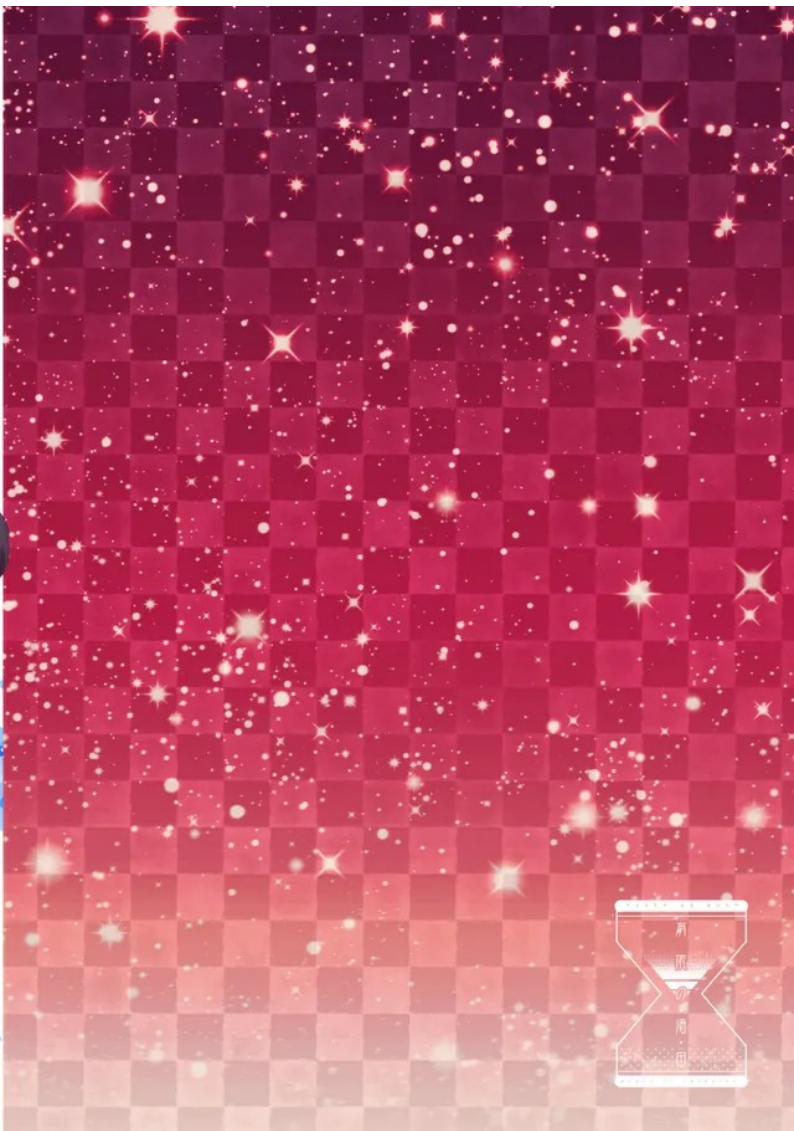




TSF(x)dx

R18

無限の須田時計  
TSFまとめ本  
2019.11~2020.8





「穢れ無き剣～誇り高き王子強制女体化～」

2019/11/11初出

P. 04～P. 29



「月光塔の夢 女体化童話～男子禁制の塔～」

2020/6/18初出

P. 30～P. 65



「人形と魔女の森」

2020/8/20初出

P. 66～P. 87



# 穢れ無き剣

~誇り高き王子強制女体化~





私は決して  
そのような者では



…なんて



兄上：  
フレデリクを  
殺したのは  
お前だろう

アンブラの魔女  
アーチエル



お久しぶりね  
エリック王子



ご名答♪

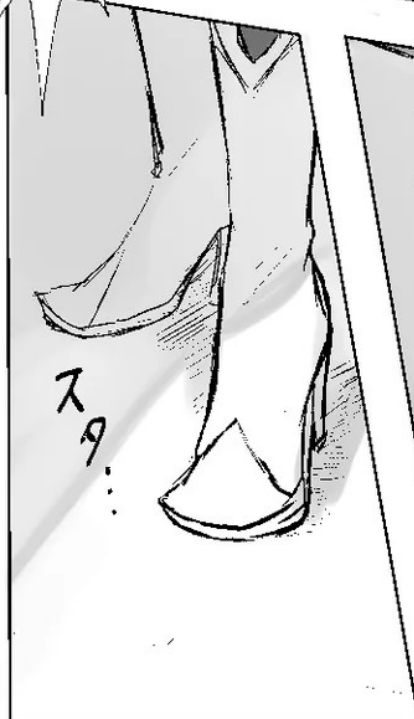


お前を殺す!



我が国の誇りにかけて

???







クソッ  
姑息な手を…!



兄弟そろって  
とんだ甘ちゃんね



何の目的もなく  
拘束すると思ってる？



魔力を  
吸いつくして  
あげて



何!?

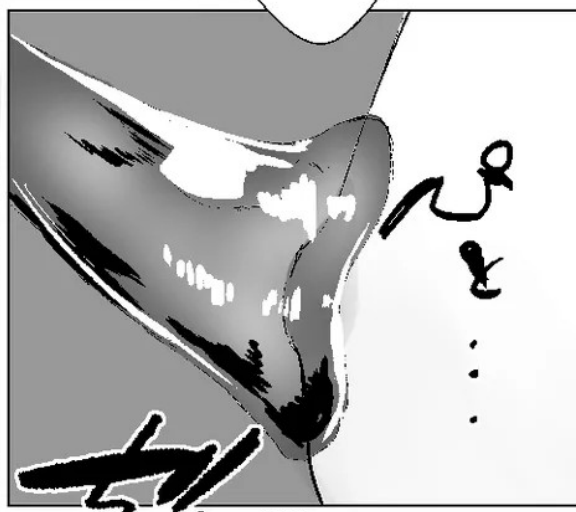


行きなさい  
触手ちゃんたち♡



うあ…  
ぐ…

やめろっ



ひと…



びん

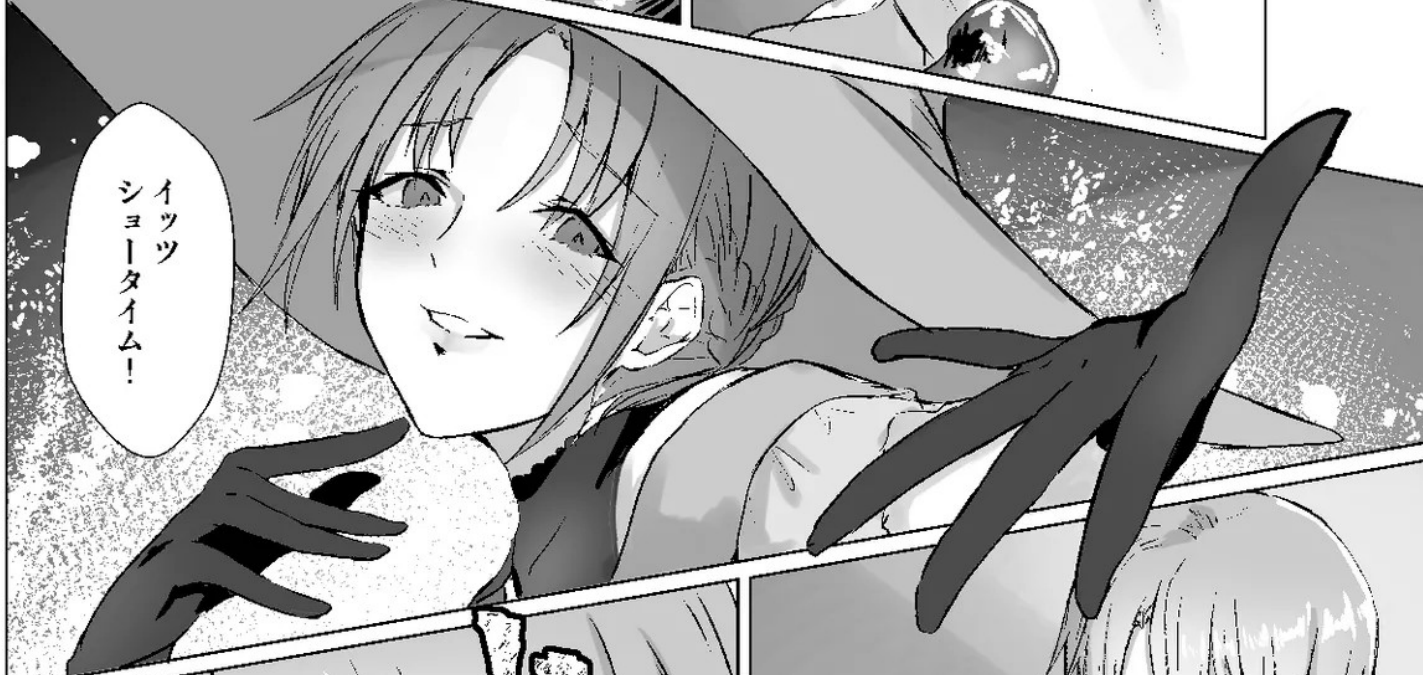




これだけの  
魔力があれば  
十分ね

まだムケてない坊やには  
刺激が強すぎたかしら？

ひっ



イツツ  
ショータイム！



？





どうかしら  
新しい姿は  
お気に召した?

見込み通り!  
とても美しいわ



これは...  
女になってしまったのか?!



何のために  
俺を女にした!!

たとえ  
姿がどのように  
変わろうとも

俺は  
決して屈しない!!

可愛い方が  
いいじゃない

だって



兄上のようにか？

大切な  
お兄さんのように



貴女も墮として  
あげるわ



こいつの舌を噛み千切れば…





そんな物騒なことを考えて  
悪い子ね

アイアイアイ

俺は…

あれ？誰だ…？

貴女はもう  
私の人形なのよ

お願いします  
アーチェル様

いい子ね

ちゅ

くちゅ

ちゅ

頭がとろけてく…

俺は何を言ってる…

あろ♡

きゅん



エリック

いいえ  
エリカ

貴女は  
本当にかわいいわ

やっぱり  
従属させるなら  
女の子よね...♡

俺は  
アーチエル様を殺さないといけないのに



なんだ これ...  
切なくて...おかしくなる

おっぱい

おっぱい

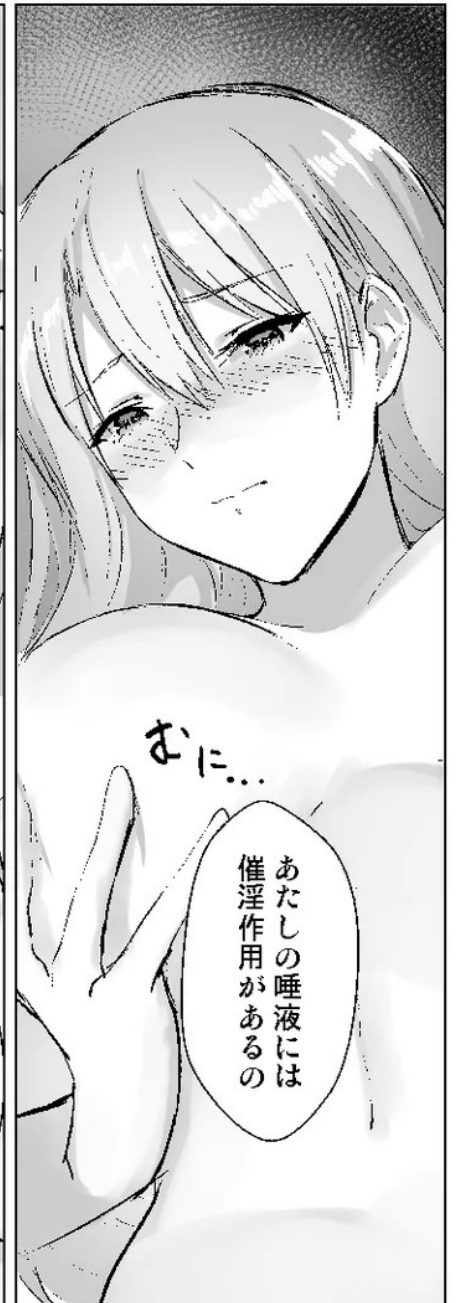
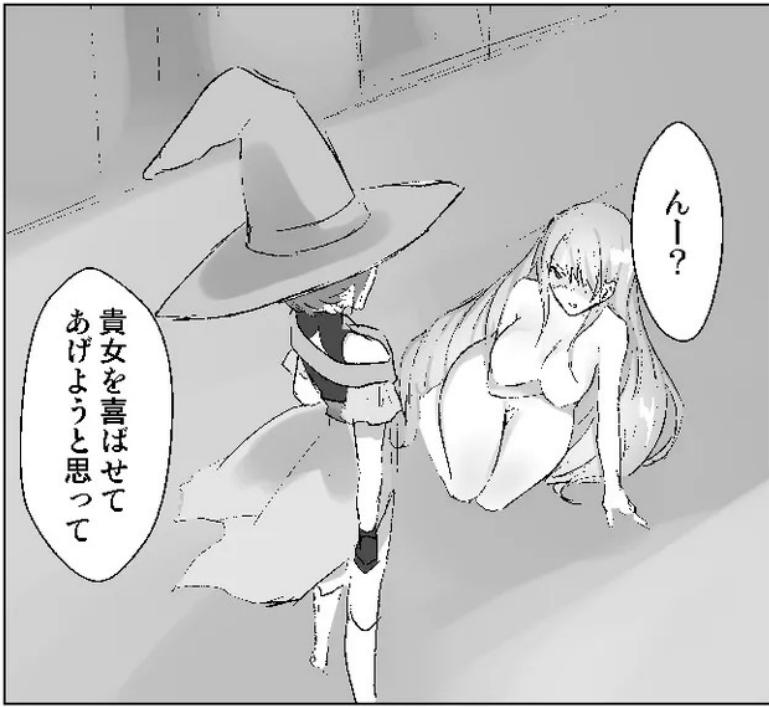
おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

やっ  
おっぱい





もの足りないん  
でしよう？

ふふ

でも…  
全然足りない

はっ

あたしが  
手伝ってあげるわ

スッ

スル



だからもう  
守れなかつただなんて  
気負う必要はないの



貴女のお兄様…  
いいえ  
お姉様はアンブラで  
健やかに暮らしているわ



私は…

エリカ  
どうしてほしい？



貴女の思うように  
してあげるわ

快楽に身をゆだねていい

満たされたい…

全てから解放されていい

過去の自分に  
囚われなくていい

熱い…



抗うなんて…

この熱を  
鎮めてください…

うーん  
及第点ってところだけだと



まあいいわ

イかせてあげる

あっ♡

くっ♡

にゅ♡

くっ♡

あっ♡  
あっ♡

ぎゅっ♡

にゅ♡  
くっ♡







気に入ったわ

あたしのそばに  
置いてあげる



んふふ♡美味しい  
私の魔力に染まってる...

そんな  
もの欲しそうな顔  
しなくても

じゅん

はっ

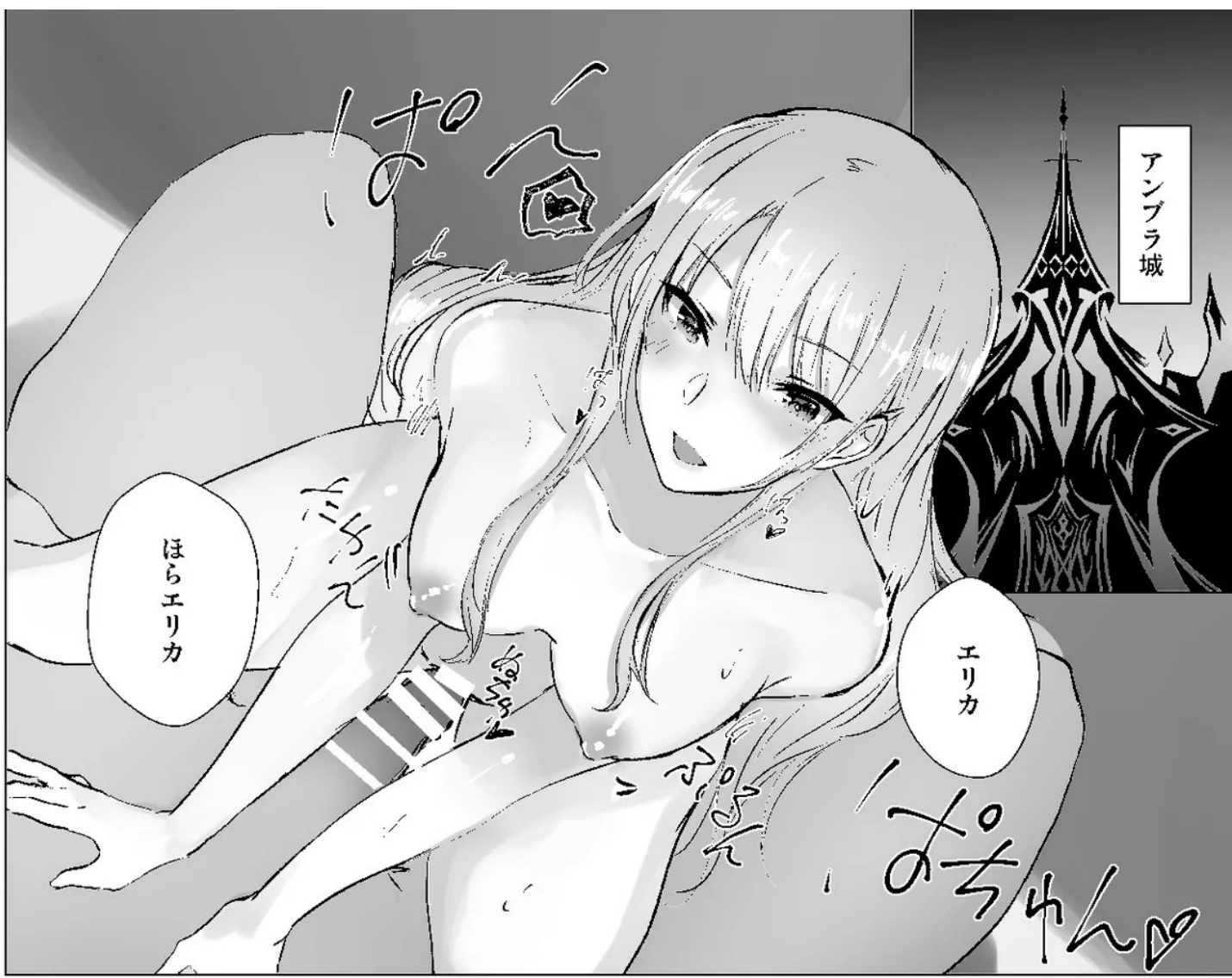
はっ

はっ♡

はっ♡

ぐにゅ







キ  
イ  
...



それには  
今日は  
貴女の大切な人が  
帰ってくるのよ

早く準備なさい



ん？



こっん

い...

あなたがエリカ？



エリカ  
この子が  
貴女のお姉様よ



こんなにかわいい子が  
フレデリカのお姉さんて  
うれしい！

これから  
一緒に暮らそうね  
エリカ

はい！  
フレデリカお姉様  
これから  
一生一緒ですわ

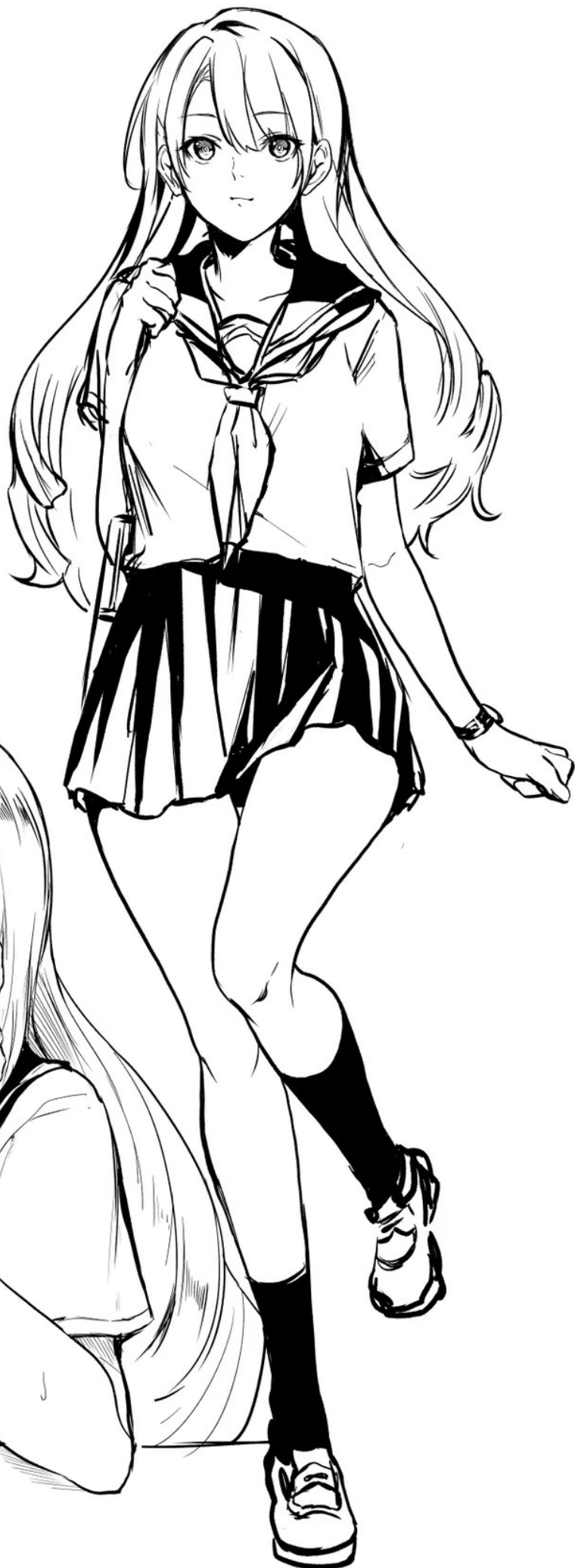
エリカ

「穢れ無き剣～誇り高き王子強制女体化～」

目標:仕上げる

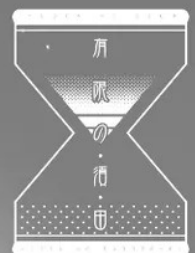
2019.10月～11月制作

2019/11/11初出



# 月光塔の夢

女体化童話～男子禁制の塔～



ある時  
俺は一冊の本を見つけた



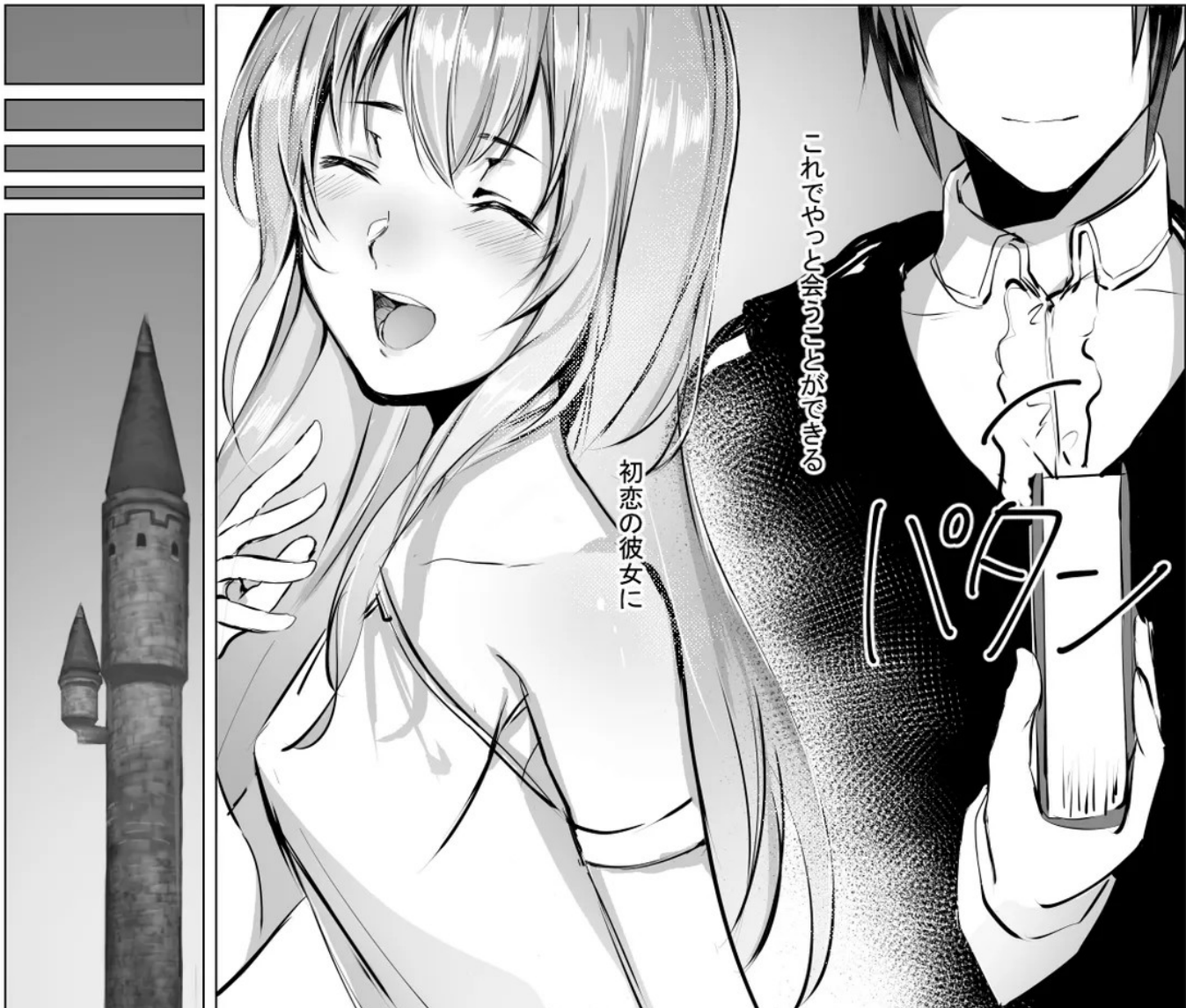
その本には  
ずっと求め続けた  
女になる術が記されていた



初恋の彼女に

これでやっと会えるよ

17





うわあっ!?

こんなところでおサボりかしら?



俺はクラヴィス・レイノルド

父上から  
隣領の弱みを掴んでこい!!と

宿敵の領内の男子禁制の塔に  
なぜか末男の俺が女装し  
潜入させられている



可愛い...!!



って

叫んでしまった

はっ



塔の主？  
あなたも子供じゃ

お…私は…  
レイ…です



あなた  
見ない顔

私はミレーヴァ  
この塔の主よ



ぱちくり



私の塔って言っても  
誰も怒らないと思うわ

でも生まれてからずっと  
ここに住んでいるの

ふふふ  
冗談よ

アアッ



あなた 面白いわ  
今日から私のお相手を  
してくださいませんか？



そんな傲慢な…



それから毎日のように  
ミレーヴアの話相手をすることが  
ようになった

塔の外には出たことが無いらしく  
俺の話をとて熱心に  
聞いてくれた

素性はあまり話してくれなかったが

彼女は天真爛漫で  
とても好奇心旺盛だった



レイ  
どうかしたの？





あつ…  
ダメです……!

だめだ、  
上手く力が



すごい熱…  
汗を拭かないと

まず



あなた…  
男だったの……!?

終わった。



ッ……



だから今日で  
貴方とはお別れ



私は男の人から  
力を吸い取ってしまう  
体質らしいの…

この塔が  
男子禁制にされている  
理由よ



私は貴方を  
傷つけない  
たくない

大切な  
お友達だもの

俺は……  
君のことが……



あれから  
秘術に必要な媒介を揃え



これが俺…



ほろろ







柔らかいものなのか

さわ

ざらり

女性の肌は  
こんなにもすべやかで



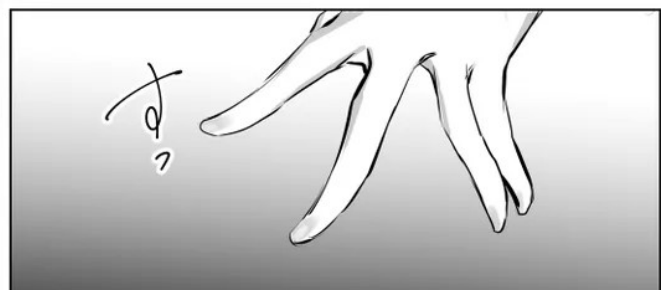
じゅ

ざらり...



声も  
俺のものじゃ  
ないみたいだ

はあ...♡



すっ



私は誰も  
呼んだ覚えは  
無いわ

名はレイと  
そう伝えればわかる  
と申しております



ミレーヴァ様  
御来客が



でもレイと名乗った方は  
女性のように見えました



…!!  
彼が来たのですか?!



ここは男子禁制です  
追いつ返しなさい…







!?  
まさか…本当に  
レイ…なの



貴女に会いたくて  
ずっと会いたくて  
俺は女になったのです



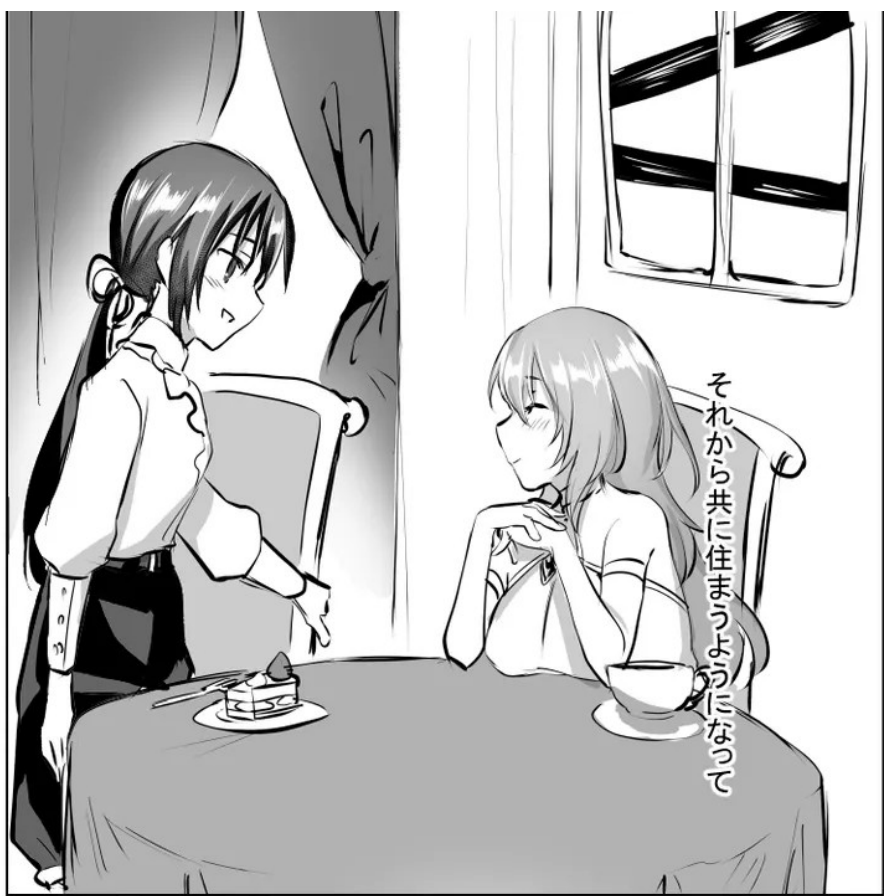
私も…!  
レイが女の子  
だったら…って  
ずっと会いたかった…

はい…!!  
俺は…ずっと  
後悔していたのです

貴女に  
思いを告げられ  
なかったことを



恋人として  
過ごすようになった



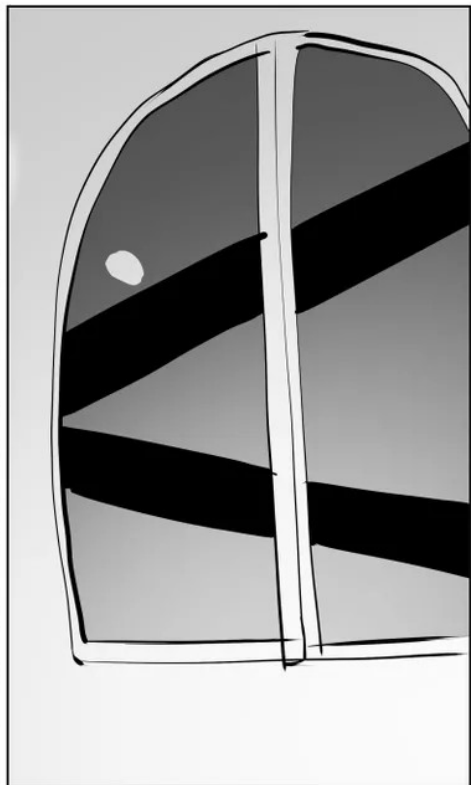
それから共に住まうようになって



ぽん



ねえ  
レイ





変だなんてそんな  
とても美しいです



おきや  
おきや



私の身体…  
変…じゃない？

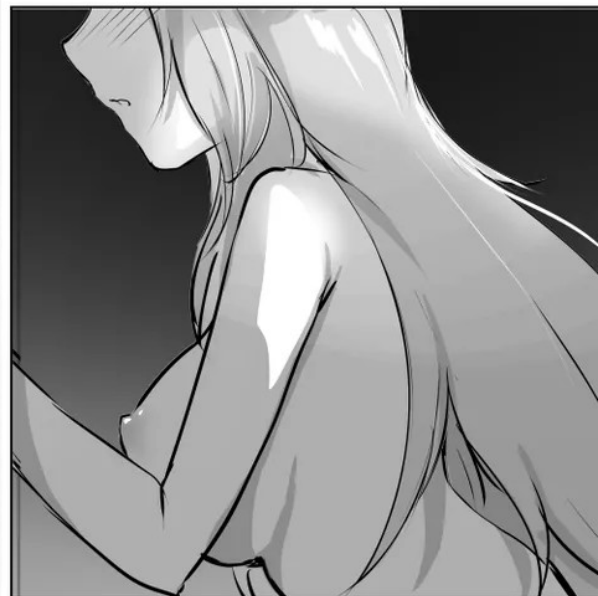


レイも  
とっても綺麗だわ

食べて  
しまいたいくらい



好きな人に見られるって  
こんなにも恥ずかしい  
ものなのね





そんな顔をされたら  
もつと色々な事が  
したくなっちゃうわ



レイ  
とっても美味しい…♡





ひゃあっ!!  
なにきっ

なにをって  
私にも触らせて  
欲しいわ

むぎゃ



どうして?  
私の手にぴったりで  
あなたの心臓の音も  
感じられる  
とても楽しいわ

おにゅ



俺の...  
こんなに小さくて  
揉んでもちっとも  
楽しくないでしょう?

ん



レイの一部分  
というだけで  
もう十分に  
素敵なのよ



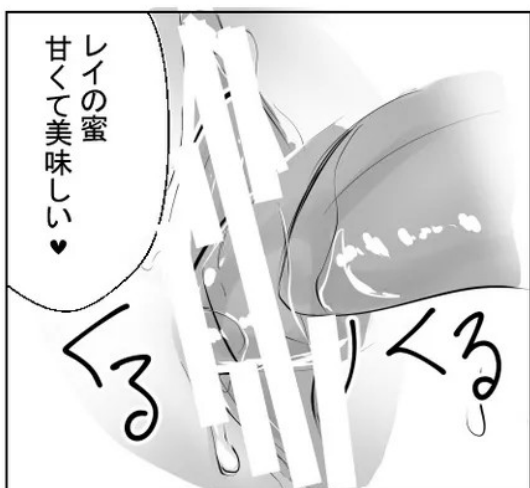
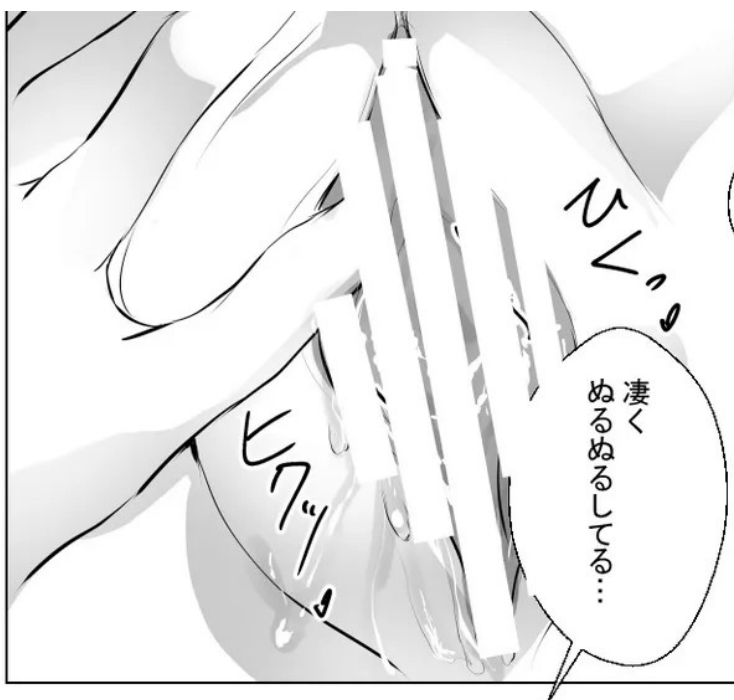
それに

ん







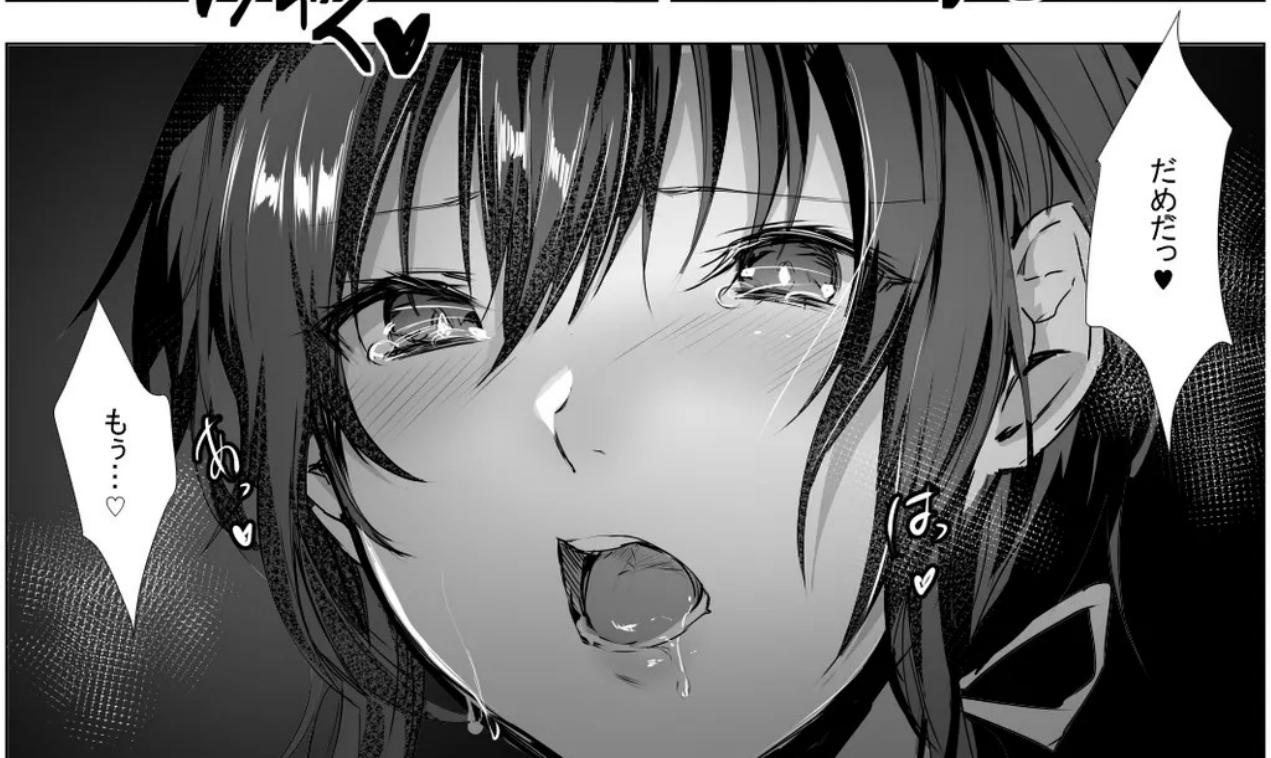












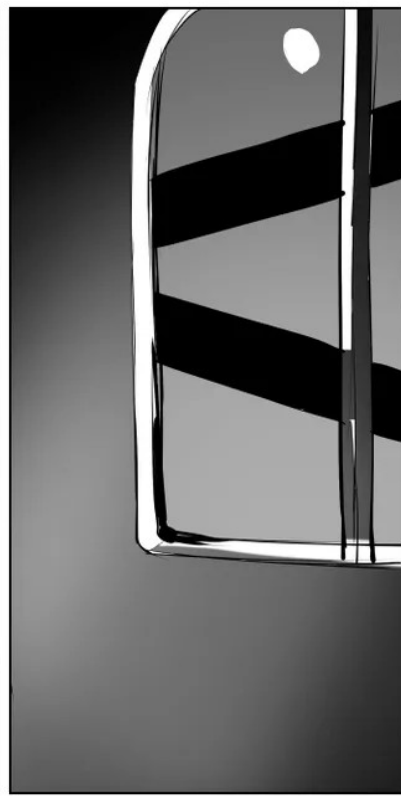


あ  
あ

あ

あ

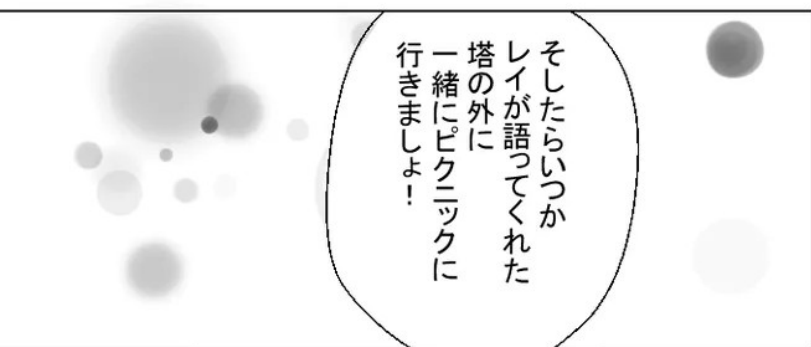
あ





きっと  
フリルいっぱい  
ドレスとか  
お花があしらわれた  
ワンピースとか  
レイに似合うと思うの

は？はあ  
到底似合うとは  
思えません……



そしたらいつか  
レイが語ってくれた  
塔の外に  
一緒にピクニックに  
行きましょ！



はい！



絶対似合うわ！  
だってレイは  
こんなに可愛いんだもの





なのに、いつの間にか  
自分の方があなたに惹かれていたの



私は夢魔  
カと同時に想いも奪い取ってしまう



だからこれ以上近くにいたら  
私の惹かれた『レイ』  
が消えてなくなってしまう



それであの時嘘をついた



あなた…男だったの……!?



私はとても嬉しかったわ



初めて出会った時より  
少し狂ってしまったけれど



でも結局  
あなたは私の元に戻ってきた



大好きよ  
レイ

「月光塔の夢 女体化童話～男子禁制の塔～」

目標:プロットから書く

2020.3月～6月制作

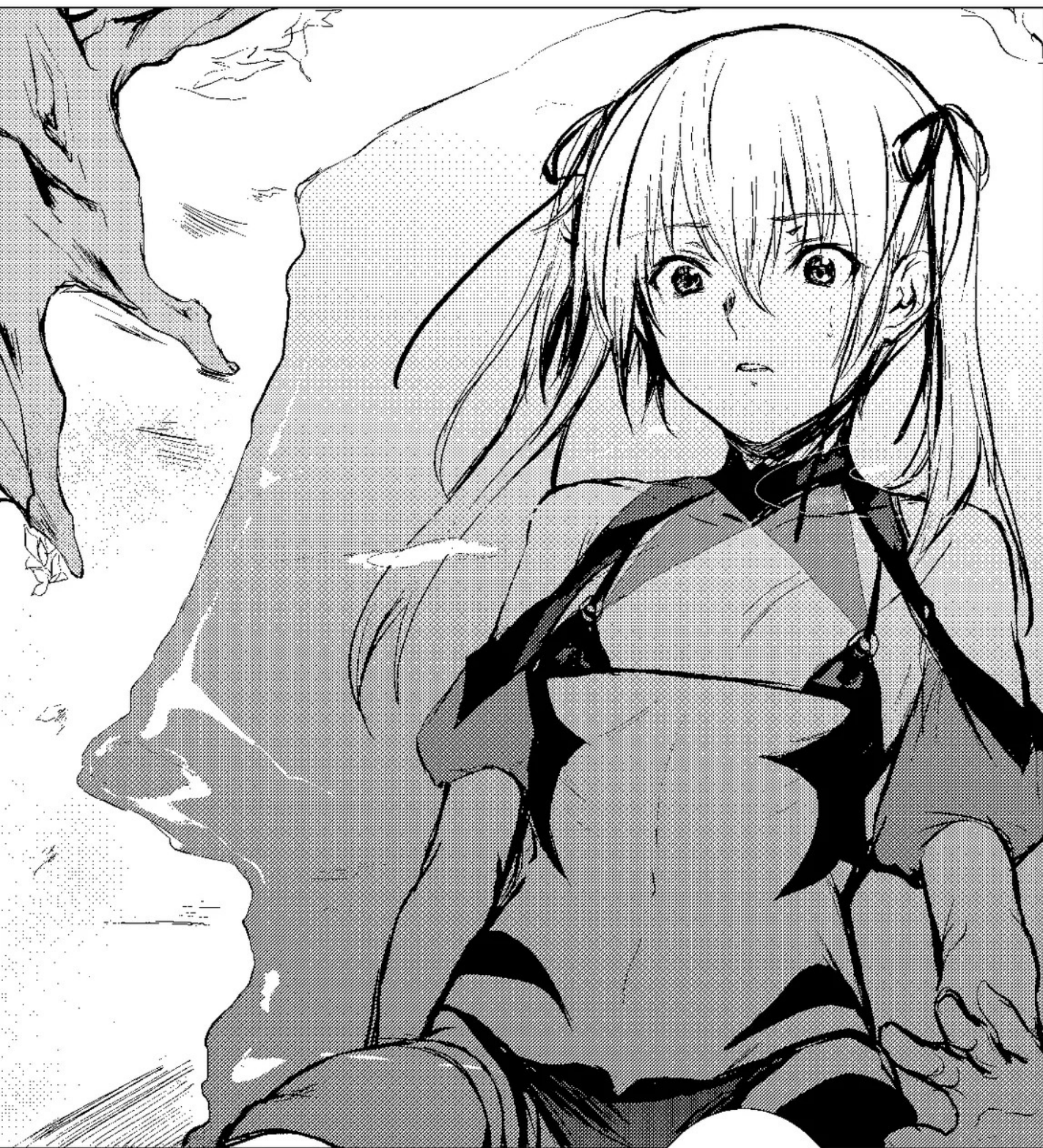
2020/6/18初出





人形と魔女の森

ウツヤ



誰だ…？





俺は魔物討伐隊の  
小隊長だ

今日は  
この森に住む  
邪悪な魔物を  
討伐



—するはずが  
いつの間にか  
気を失い  
こんな小娘に

小隊のやつらも心配だ  
さっさと元の姿に  
戻って合流しないと



それにしても  
この服装  
正気じゃない

色々心もと  
なさすぎるだろ



きゃあー!!

くそ…  
つい悲鳴に反応して  
来てしまったが

どうする…  
コイツは

今回の討伐対象  
じゃないか!!!

いやあ!!  
助けて…!!

俺が隙を作る  
その間に行け!!

だが

これを一人で?  
武器だって  
木の棒一つだ

助けを求められて  
それを見殺しにするなんて

男が廃るというもの!!!



ああ  
これで終わりか！



俺と同じ顔…？!

だって  
その子も  
『私』だから

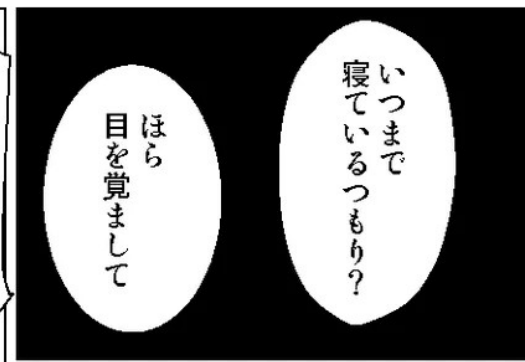


おい!!  
さっさと逃げろ!

その必要は  
ないわ

死にたいのか?!

何が起きて…



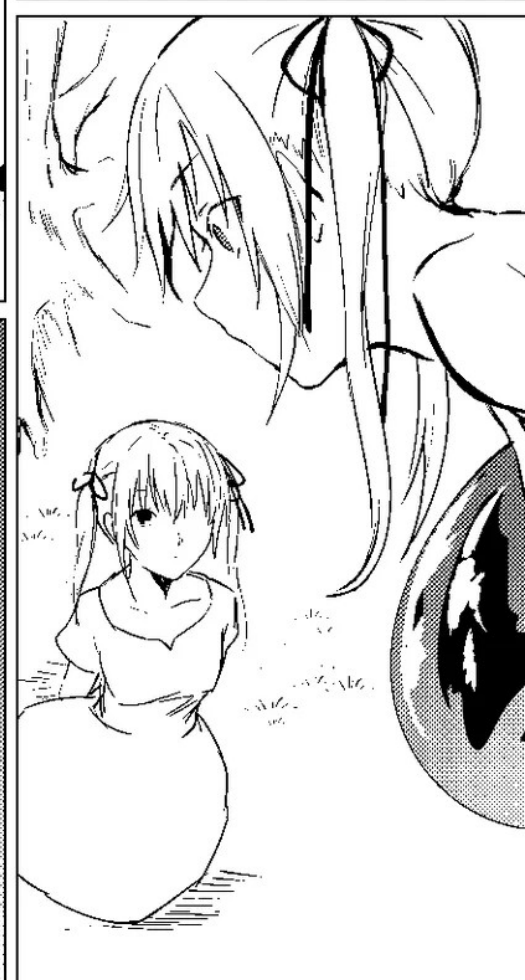
いつまで  
寝ているつもり?

ほら  
目を覚まして



くそっ  
離せ…っ!!

おいっ!?!  
どういう意味だ



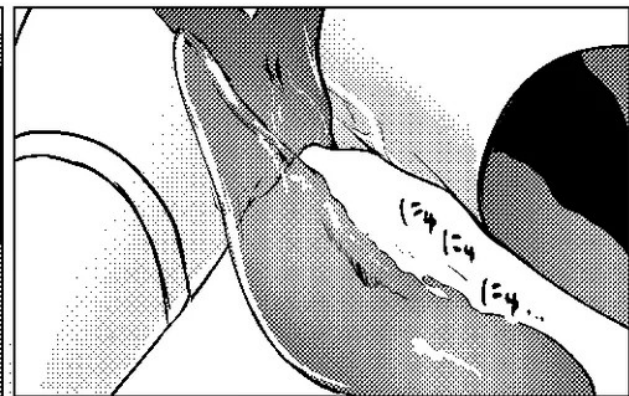




擦られるたびに  
身体が熱くなる…ッ



身体がっ  
勝手に反応して…ッ











痛っ!!



そんなの  
簡単な  
話だよ



こんだけの見た目なら  
それもいいエッセンスだ

いっぺん死んだら  
治るかと思つた  
その気に食わねえ態度は  
変わらないようだが

死んだあんたを  
見届けに来たんだ!!

俺が死んだ!?

俺が死んだって?!

嘘をつけ!!  
俺はこうして  
生きて!



だって  
俺があんたを



キャンキャン  
うっせえな

死んだっ  
つってんだろ

「俺」は生きて...?!





この姿を見るまで  
信じてなかったが  
面白いもんだ

隊長



ひっ

男のあんたなら  
わかるだろ

このままで  
終われるわけ  
ないって



ははっ  
触ってもないのに  
すっげえ滞れてやがる

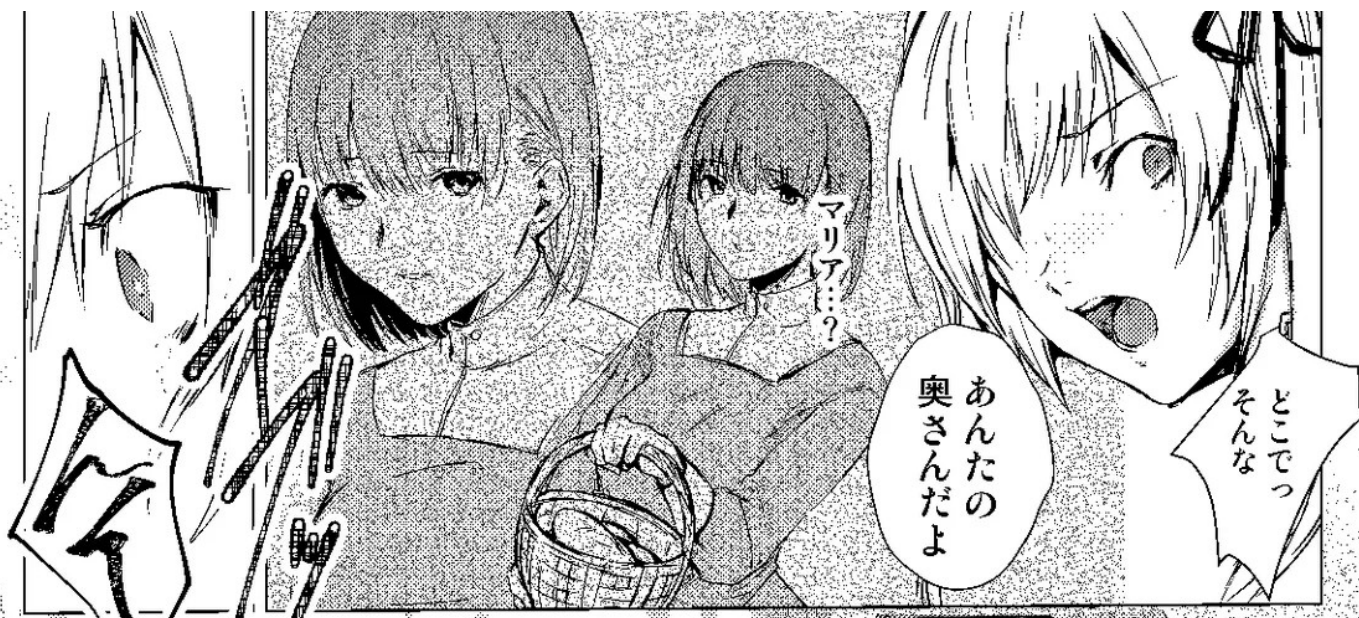
ちがっ  
違わねえよ

元々早漏だったのが  
女になったら  
滞れまくりの  
感じまくり

喉でも  
感じるト変態

ッ?!

剣士より  
メスの才能の方が  
あったんじゃないの



どこでっ  
そんな

あんたの  
奥さんだよ

マリア…?

マリアが  
そんな…

欲求不満だった  
みたいだぜ？  
ちよつと誘いを  
かけてやったら  
コロっとだ

喜んで俺の上で  
腰を振ったよ

まさか  
優秀な剣士様が  
夜の方は  
下手くそだった  
なんて

隊長の立場も  
型無しだ

こんなクズに…

なんでこんな





俺はもうこのまま...

No  
Kin



ほら  
これくらいで  
へばってんじゃね



『私』に  
手を出さないで  
くれるかしら



お前…!!  
さつき俺を  
置き去りにした…!!

それは別の『私』  
じゃないかしら

……

…なあ  
どうして君は  
俺と同じ姿を  
しているんだ

俺は何なんだ

魔女…  
になったのか?



あなたも私も  
同じ人形

この森そのもの  
である魔女  
『ママ』の複製

その人形に  
魂が宿った存在よ



ただの身体の一部  
魔女の血液だとも  
考えるといいわ

人間からは『私』達も  
魔女と呼ばれて  
いるけれど  
魔女である『ママ』とは  
本質的には違う



もう身体だって  
痛くないでしょ



『ママ』が治して  
くれたのよ

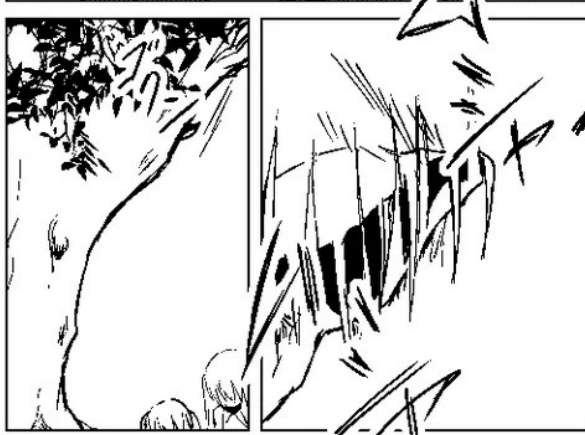


いいえ  
あれはただの餌ね  
たしかに『ママ』の一部には  
なるでしょうけれど

ほん



なあ そしたら  
ここで死んだあいつも  
魔女に…  
人形になるのか？



こんな穢れた魂なんて  
その辺の虫にでも  
食わせておけばいいのよ

ほい



あら気に触ったかしら  
褒めているのよ



ふふ  
それにしてもあなた  
私に近い個体のはずなのに  
ずいぶんと感度がいいわね

お前も…  
そう言うのか…





必死に帰ろうと  
していた家にも  
俺の居場所なんて  
なくて

突然殺されて  
こんな姿にされて



いや  
もうどうでもいいんだ  
何もかも



そうだよなあ  
愛想つかされるほどに  
下手だったんだろうな

アイツに犯されるのは  
決して気持ちよくなんて  
なかったが…でも  
マリアがあんな風に  
よがってくれたこと  
なんてなかったなあ



役目も  
還る場所もある

もうあなたも  
『私』の一員

安心して  
『私』たちは  
あなたの誕生を  
祝福するわ





しばらく美味しい蜜を  
分けてもらえそう



ふふ  
今回の子は  
大当たりね



「私」の血肉として  
働いてね

可愛い可愛い  
人形たち

「人形と魔女の森」

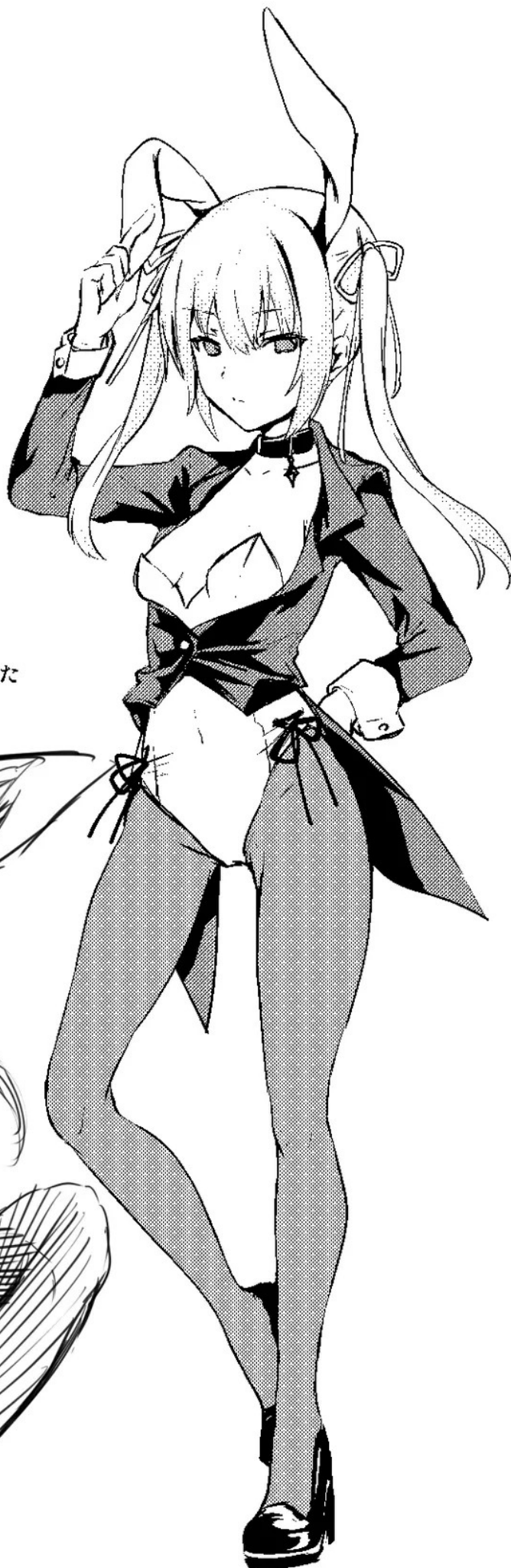
目標:メインキャラの固有名詞の排除

台詞を増やしてみる

変形コマを減らす

2020.6月~8月制作

2020/8/20初出



この作品を作る前に描いた  
イメージイラスト



今回の題名は  
「男が女になるまでの  
過程のまとめ」  
というイメージで  
付けました。



$\int_{\text{男}}^{\text{女}} TS F(x) dx$

発行：有限の須田  
発行者：無限の須田時計  
連絡先：[mugennisudachi8@gmail.com](mailto:mugennisudachi8@gmail.com)

無断転載・複製・複写は禁止です。  
インターネット上への掲載や  
ネットオークション、フリマアプリなど  
への出品はご遠慮ください。



# DREAM OF THE MOONLIGHT TOWER

A FAIRYTALE OF FEMALE TRANSFORMATION  
- THE TOWER FORBIDDEN TO MEN -

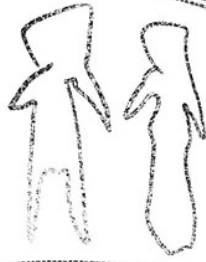




ONE DAY I  
CAME ACROSS  
A CERTAIN  
BOOK.



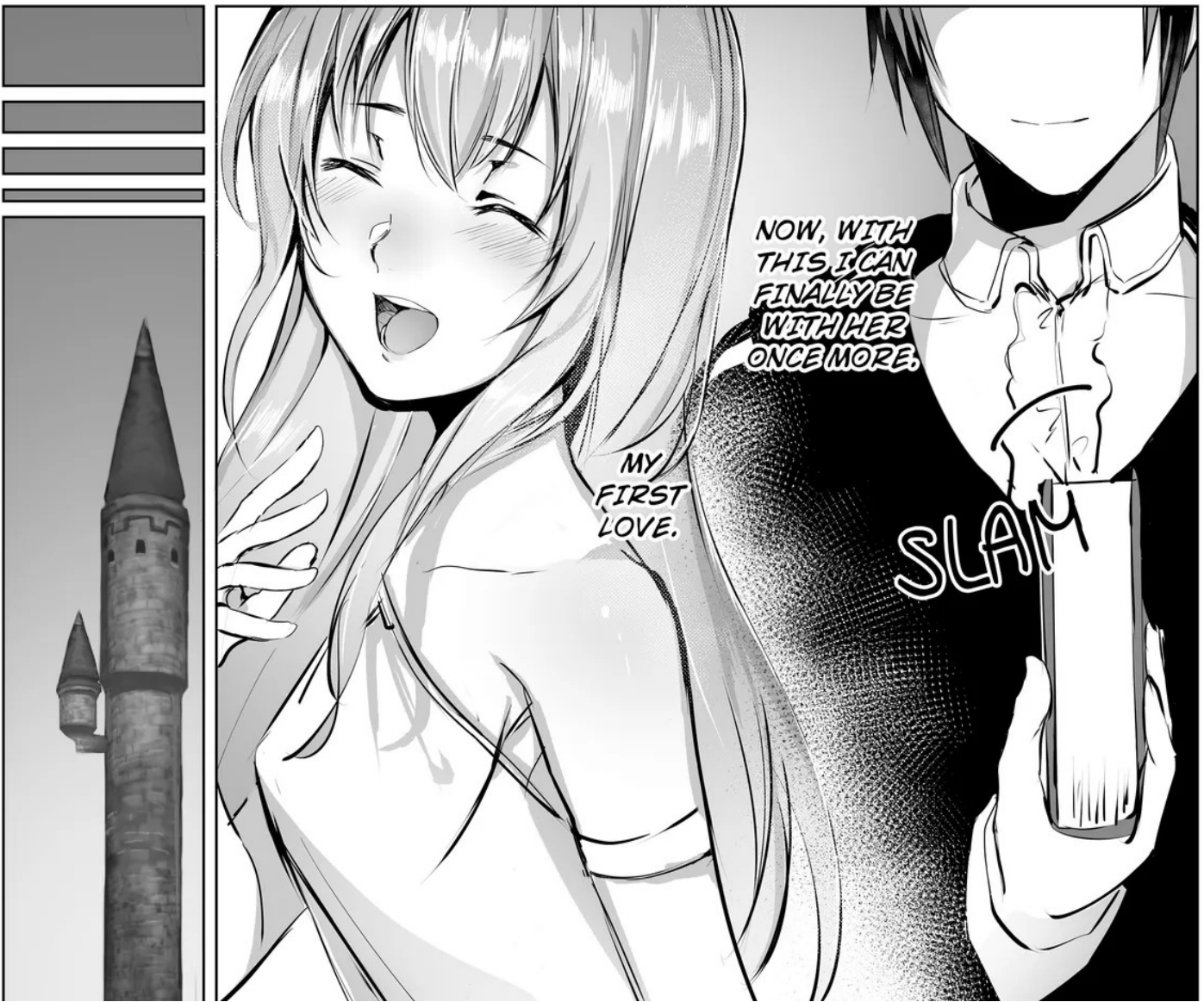
IN THE BOOK WAS  
A SPELL WHICH I  
HAVE BEEN SEEKING  
ALL THIS TIME, A  
SPELL THAT COULD  
TRANSFORM MAN  
INTO WOMAN.



NOW, WITH  
THIS I CAN  
FINALLY BE  
WITH HER  
ONCE MORE.

MY  
FIRST  
LOVE.

SLAM





**JOLT!**

I SUPPOSE YOU ARE AVOIDING YOUR DUTIES BY HIDING OVER HERE?

**AHHH?!**



MY NAME IS CLAVIS REYNOLD

MY FATHER TASKED ME TO DISCOVER THE WEAKNESS OF OUR NEIGHBORING TERRITORIES.

DESPITE BEING A BOY, I WAS FORCED TO DISGUISE MYSELF AS A GIRL TO INFILTRATE THE TOWER FORBIDDEN TO MEN WITHIN OUR NEMESIS'S TERRITORY.



SHE'S SO CUTE...!!



OH NO.

I YELLED...

**GASP!**



YOU'RE THE MASTER OF THE TOWER? BUT YOU'RE ONLY JUST A CHILD!

OH... I'M... REI...



I'M MILLEVA, THE MASTER OF THIS TOWER.

YOU SEEM TO BE A NEW FACE HERE.



I DOUBT ANYONE WOULD BE ANGRY IF I CALLED THIS MY TOWER.

HOWEVER, I'VE BEEN LIVING HERE EVER SINCE I WAS BORN.

FU FU FU, I'M ONLY JOKING.

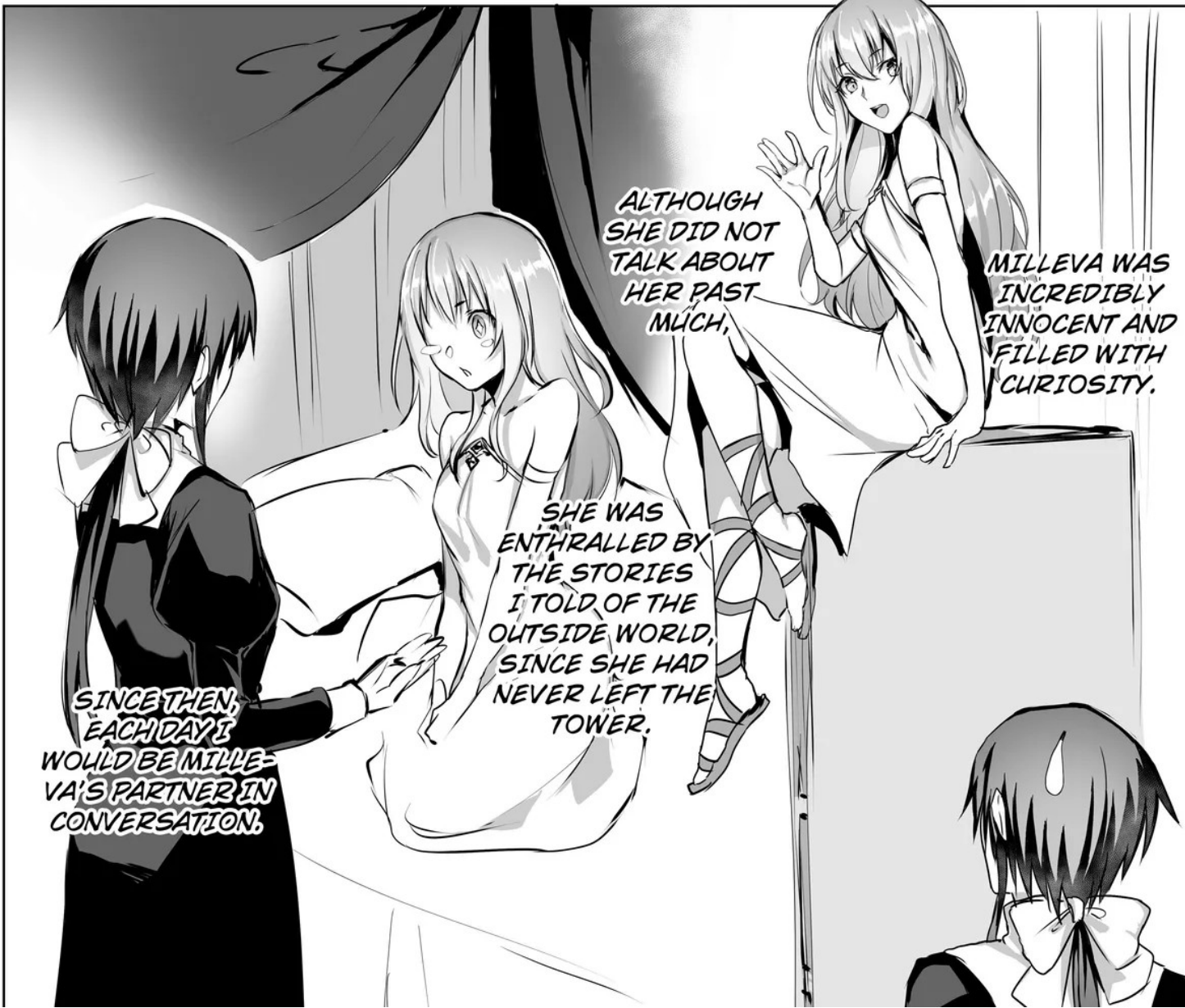
FLUTTER



YOU'RE FUNNY...  
WOULD YOU LIKE TO BE MY PARTNER FROM NOW ON?



SO AR-ROGANT...



ALTHOUGH SHE DID NOT TALK ABOUT HER PAST MUCH,

MILLEVA WAS INCREDIBLY INNOCENT AND FILLED WITH CURIOSITY.

SHE WAS ENTHRALLED BY THE STORIES I TOLD OF THE OUTSIDE WORLD, SINCE SHE HAD NEVER LEFT THE TOWER.

SINCE THEN, EACH DAY I WOULD BE MILLEVA'S PARTNER IN CONVERSATION.





AH... YOU CAN'T...!

NO... MY STRENGTH IS FADING...



YOU HAVE A TERRIBLE FEVER... WE NEED TO GET YOU CLEANED UP.

OH NO...



YOU... WERE A MAN...?!

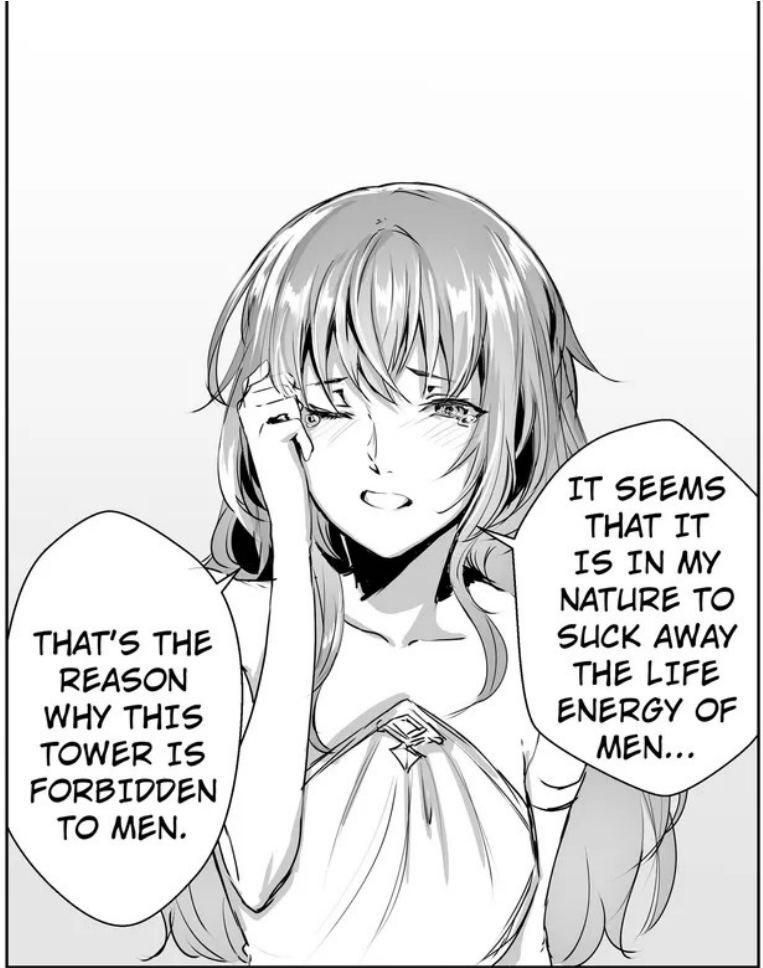
IT'S OVER...



...!



I'M  
AFRAID  
YOU MUST  
LEAVE.



THAT'S THE  
REASON  
WHY THIS  
TOWER IS  
FORBIDDEN  
TO MEN.

IT SEEMS  
THAT IT  
IS IN MY  
NATURE TO  
SUCK AWAY  
THE LIFE  
ENERGY OF  
MEN...



AFTER ALL,  
YOU'RE A  
DEAR FRIEND  
OF MINE.

I DON'T  
WANT TO  
CAUSE YOU  
ANYMORE  
HARM.

MILLEVA...  
I...



SINCE THEN,  
I'VE COLLECTED  
THE NECESSARY  
MATERIALS FOR  
THE ESOTERIC  
ARTS.



IS THIS  
REALLY  
ME...?



BLINK



POP! ✓



THROB ✓

